

平成25年度 第1回 美里町政策評価委員会

年 月 日	平成25年10月 4日
場 所	宮城大学大和キャンパス301号室
開 始 時 間	午前・午後 10時30分
出 席 委 員	委員長 徳永 幸之 副委員長 西川 正純 委 員 塩野 悦子 委 員 古川 隆
欠 席 委 員	なし
職務のため出席した者の職氏名	企画財政課長 須田 政好 企画財政課長補佐 佐々木 義則 企画財政課係長 小林 誠樹 企画財政課主事 澤村 拓也
報告・協議事項	(1) 政策評価の取組方針及び実施方法等について (2) 評価対象政策及び担当委員の調整について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他
終 了 時 間	午前・午後 11時43分

【 次 第 】

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 委員紹介
- 4 報 告 昨年度評価の総括について
- 5 協 議
  - (1) 政策評価の取組方針及び実施方法等について
  - (2) 評価対象政策及び担当委員の調整について
  - (3) 今後のスケジュールについて
  - (4) その他
- 6 閉 会

## 1 開会

—午前10時30分 開会—

## 2 挨拶

(徳永委員長挨拶)

## 3 委員紹介

(委員の名前を読み上げて紹介)

(事務局の職員を紹介)

## 4 報告

(昨年度評価の総括について小林係長より報告)

## 5 協議

徳永委員長            それでは、協議に入ります。  
                              まず、「(1) 政策評価の取組概要等について」事務局より説明をお願い  
                              いたします。

小林係長                (資料1、資料2、資料3、資料4、資料5に基づいて説明)

徳永委員長            説明内容に対して意見、質問等ございませんか。

古川委員                平成24年度の報告の中で、改善の動きが見られないところもいくつ  
                              か見られると説明がありました。また、各課や施策毎に温度差がある  
                              という報告もありましたが、職員の中で政策評価に対する理解や浸透が十  
                              分されていないのではないかと推測されるのですが、いかがでしょうか。

小林係長                浸透という意味ではご指摘のようなところはあると思います。今後も、  
                              様々な面から行政評価に対する理解を深めていく必要があると考えてい  
                              ます。古川委員からは、昨年度の評価を通じて具体的な方向性や事業提  
                              案をしていただきました。それらを事業につなげたいと考えておりまし  
                              たが、現場では思うように取り組めなかったことから、引き続き実現で  
                              きるように努力したいと考えています。

古川委員                はい。了解しました。

徳永委員長            理解度のばらつきということもありますが、調書の中身が要因分析で  
                              はなく結果で書かれています。調書を見て感じたのは、成果を非常に気

にされていて、なぜ出来ないのか、将来どうなるかといった検討までは気が回っていないような印象を受けました。数値管理という点ではしっかり出来ているように感じましたが、長期計画の中でそれをどうやって達成していくのかという認識がまだまだだと感じましたので、意識改革などを進めていく必要があると思います。

また、サマーレビューを非常に良くやっていただいたと思いますが、評価対象となる施策をピックアップするということは、全ての事業は評価できず大半の事業は評価しないこととなってしまいますが、そのようなやり方でもよいのでしょうか。

小林係長 政策評価委員会において、63施策全てを評価するということは想定しておりません。今年度は夏場に調書作成と予算の概算要求まで終わらせまして、結果を町長に報告した上で、現在はその結果をもとに町長もレビューに入っています。どの調書が評価対象になるかは分かりませんが、こうした流れで活用されるということを周知した上で作成したものでございます。

徳永委員長 この委員会の進め方として、施策をピックアップして評価して返すやり方も当然あるのですが、サマーレビューや町長のレビューの結果も踏まえて、まとめて委員会の評価や意見としてお返しするという方法もあると思います。いずれにせよ、この委員会をより効率的な方法で使っていただければ、こちらとしては良いのかなと思っています。

西川委員 施策によっては短期のものと長期のものでかなり差があるので、評価の際に成果がなかなか見えにくいものもあります。一概に同じ視点から見ることにはできないので、そこを工夫して評価できればと思います。特に産業の分野などは短期間で良い方向に行くわけではないので、期間の途中にも判断基準を設けるなど、考慮していく必要もあると思います。

徳永委員長 結果を分析する際に、自力でこういうことが出来た、外の力によってこういうことが達成できたなど、その区別も踏まえながら全体をチェックしていかなければならないのですが、結果の整理と要因の整理というところに若干ズレがあるように感じました。整理の仕方についても課題はあると思いますが、こうしたほうが良いのではないかという助言も含めて、政策そのものの評価をそれぞれの先生の得意分野で行っていただくという方向性でいきたいと思っています。

他になれば次に進みたいと思いますがよろしいですか。

(質疑なし。)

徳永委員長 次に「(2) 評価対象政策及び担当委員の調整について」に入ります。先生方の中で、評価の対象として希望される施策や事業などがありますでしょうか。特になければ、事務局より案を示していただきます。

小林係長 (事務局案を説明)

徳永委員長 事務局の案ということで、施策30の子育て施策を塩野委員に、施策35の園芸産地の育成については農商工連携や6次産業を含めて西川委員に、施策54の住民協働については古川委員に、施策45の公共交通施策については私徳永という提案ですが、皆さんいかがでしょうか。

塩野委員 私は、「子ども子育て会議」にこれまで関わっている経緯もありますので、これと並行してやらせていただきたいと思います。

古川委員 私が担当する協働のまちづくりは、範囲が広い概念だと思うので、議論していくうちに他の施策とも多少は関わりが出てくると思いますし、それらを組み合わせて効果を上げるという議論も必要なので、施策54に焦点を当てるにしても、他の分野も見ていかなければいけないと考えています。

西川委員 施策35だけではなく、作られた品物をどうやって売っていくか、食品工場の誘致など、当然他の施策にも関係してくるので、そういった点も踏まえてやっていきたいと思います。

徳永委員長 ここで挙げていただいた施策を見ていく中で、関連施策が出てくればそれも対象に入れていくという形で進めていければと思いますので、よろしく願いいたします。

徳永委員長 次に「(3) 今後のスケジュールについて」事務局より説明をお願いします。

小林係長 昨年度と同じような形で、最後に合同で全体会をお願いしたいと思います。それまでの間は、各担当課を中心に昨年度と同様のスタイルで評価を行っていただきたいと思いますと考えております。本日決定された内容を担当課に伝え、個別に日程調整をさせていただきたいと思います。

徳永委員長 個別会議は別途日程調整とのことですが、最終の全体会はいつ頃までに開催する予定でしょうか。

小林係長 年内を目途に、12月中でお願いをしたいと思います。

(第2回委員会の開催日について協議)

徳永委員長 第2回委員会の開催日は12月24日(火)に開催したいと思います。最後に「(4) その他」ということで、全体を通して質疑等ございませんか。

(質疑なし。)

徳永委員長 その他質疑がなければ、以上で協議を終了します。

## 6 閉会

—午前11時43分 開会—

記録者 : 企画財政課 澤村 拓也